





本校は「高円寺阿波おどり」の街として有名なJR高円寺駅の南、約七百メートルの地にあります。杉並区が区政を施行する一ヶ月前の昭和七年九月一日に開校しました。今年度は◎思いやりのある子◎よく考える子◎たくましい子の三つの子ども像を教育目標とし、子どもたちが楽しく充実した生活を送る学校・学ぶことが楽しい学校・心身ともに健康で楽しく安全な学校・社会性を高く伸ばす学校を目指して、保護者や地域の皆様のご支援・協力を得ながら、全教職員が一丸となって教育活動を進めています。

共に生きる児童の育成

平成十六・十七年度、杉並区教育委員会研究奨励校として、道徳の時間を通して、子どもへの自己肯定感を高め、豊かに心を通い合わせる児童を育てる指導の研究を進めています。道徳の授業を中心として、事前・事後の児童との心の触れ合いを大切にしています。その成果として、互いに相手の立場を考慮して行動する姿が見られるようになってきました。平成十八年一月二十七日(金)の13時30分より、本校において研究発表会を行いますので、お越しいた

杉八小にあった 戦時青年学校

原田 弘

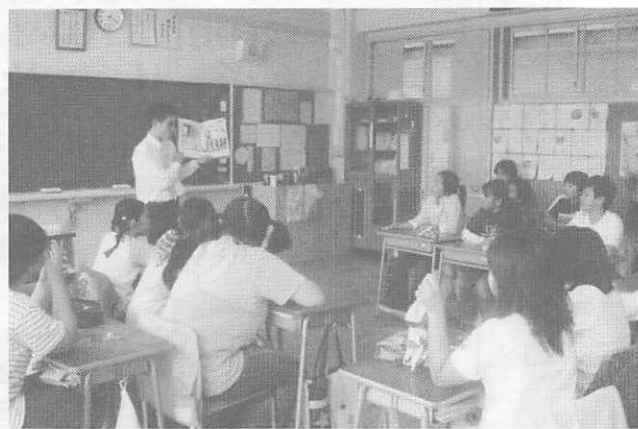
戦時中、特定の小学校に青年学校というのがあり、この杉八小にその学校がありました。教育内容は軍事訓練が主でありその合間に一般教養の授業が行われていました。

この学校は夕方から夜間が主であり、生徒は学歴関係なし、高円寺駅商店街や町工場などで昼間働いている青少年が大半で、普通科、本科、専科など分かれていたと思いますが、何分六十年以上昔のことなので記憶が薄れて不正確なところがあるかも知れません。

この指導員は上等兵、伍長など肩章をつけた在郷軍人と呼ばれる兵隊経験者で平素は職人や店員など自分の店をやっている人達でした。酒屋とか、ブリキ屋の職人とかやっていたのが軍服を着ると人が替わったように厳しくなり少し怖いくらいでした。

杉八小の講堂の東側に音楽室がありました。その前に小銃がずらりと立てかけてありました。生徒は兵隊服のような服装で足にはゲートル又は脚絆と呼ばれるものを巻きました。時々夜間に隊列を組んでラッパを先頭に高円寺駅、商店街を銃砲をかついで行進しました。またその頃、

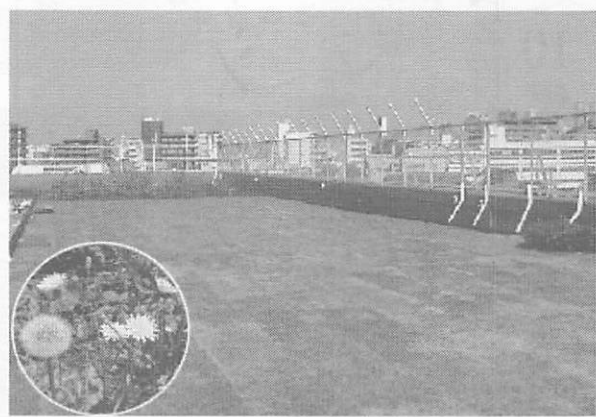
なければ幸いに存じます。また、高円寺中央青少年育成委員会による「あいさつで目と目があつてうれしいね」「あいさつはだれでもできてしんせつだ」の標語のもと、学校・家庭・地域が一体となって、あいさつ運動を推進しています。今後も、より一層温かい心を育てるあいさつを大事にしていきます。



真剣に学ぶ杉八の子 (道徳の時間)

自然に触れる

本校の屋上は緑化され、芝生が敷きつめられています。野草園もあり、高円寺の街中では見られなくなった



緑化された屋上の様子「写真内囲み・野草園に咲いた花」

四季の植物が観察できます。子どもたちは、芝生で遊ぶようになって、都会なりの自然のよさを感じ、癒されて心ゆとりが出てきたように思われます。子どもたちに聞くと、はだしているのが気持ちがいい、「□□□と転がれて楽しいなど、芝生は大人気です。

地域の協力

本校の子どもたちが充実した生活を送ることができているのは、保護者や青少年育成委員会、児童館、親&児の会、町会などの地域の皆様のおかげです。日頃からの学校へのご支援・協力をはじめ、地域行事でも子どもたちの健全育成の推進をしていただいています。

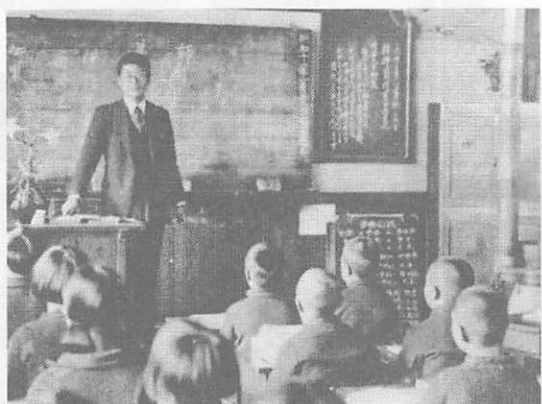
「杉八土曜日学校(サタハチ)」は、運営委員会で計画立案し、年間十五

青年学校の軍事教練を視察するため、年一回査閲といつて陸軍省から大佐級の軍人が来ました。この時「君等の敵は誰だ」と質問されたら「ハイ一年を同じくする米英の青年であります」と答えると査閲官が喜ぶといわれ講評は「極めて優秀、優秀、良好、おおむね良好」などで評価に一喜一憂したものです。



当時の講堂とその内部

\*今回は本文に適合する資料に乏しく、参考資料として昭和初期の杉八小の写真の幾つかを掲載しました。写真のすべては杉八小から借用したものです。



先生は一段高い教壇に立って授業していた



当時どこの学校にもあった 二宮金次郎像



朝礼風景



学校正面校門と 校庭から見た校舎

原田 弘氏

杉並郷土史会会長・(元)日本歴史学会会員・杉並区文化財保護指導員・日本ペンクラブ会員

回程度実施しています。新一年生と一緒にラケットボールを使つてのゲーム、トンボが卵を産みつけるためのイカダ作り、ペットボトルロケット飛ばしなど、子どもたちは、毎回のサタハチを心待ちにしています。第十三回を迎えた「杉八子どもキヤンプ村」は、児童八十人が参加し、防災ゲームをしたり、夕食を作ったり、テントで宿泊したりして楽しみました。そして現在は、十一月十三日(日)に第二十回を迎える「こつえんじこどもまつり」に向け準備の真最中です。お店屋さんや音楽発表



トンボが卵を産みつけるイカダ

など楽しみいっぱいです。本校は開校以来、地域の方々のご理解とご協力を得て、子どもたちにとって安心できる学校となっております。これからも、子どもたち一人一人、そして、保護者や地域の皆様方にとって「居場所」があり、活躍できる杉八小」を目指して参りますので、ご支援・協力をお願い致します。